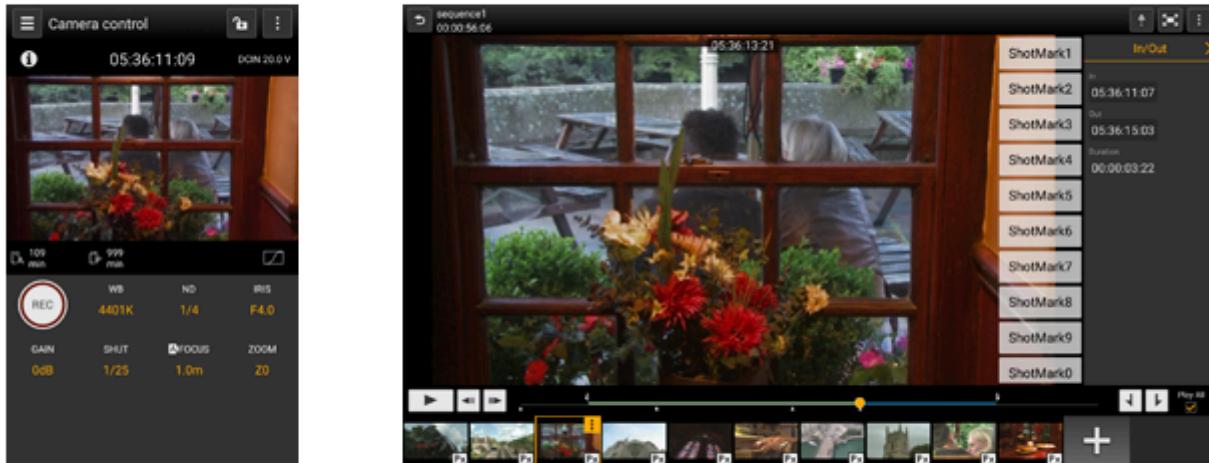


Content Browser Mobile



Content Browser Mobileを使っていて困ったときやわからないことがあったときに使うマニュアルです。本書で使用している画面表示は変更されることがあります。

ILME-FX6をお使いのお客様へ

ILME-FX6をお使いの方で、カムコーダーの本体ソフトウェアがVer.5.00以上の場合は、Content Browser Mobileをお使いになれません。Monitor & Control (Ver.2.0.0以上)をお使いください。

Monitor & Control サポートページ：<https://www.sony.net/ccmc/help/>

はじめにお読みください

[接続機器別対応機能について](#)

[入力文字について](#)

機器との接続

[Wi-Fiで接続する](#)

[NFCタッチで接続する \(Androidのみ\)](#)

[USBテザリングで接続する](#)

[有線LANで接続する](#)

[登録されているユーザー名とパスワードを消去する](#)

機器のリモート操作 (PXW-FX9/ILME-FX6 (Ver.4まで))

[カムコーダーを操作する](#)

[フォーカスやアイリス/NDフィルターを調整する \(ILME-FX6 \(Ver.4まで\) のみ\)](#)

[アサインブルボタンを操作する \(ILME-FX6 \(Ver.4まで\) のみ\)](#)

[メディア内のクリップを操作する](#)

機器のリモート操作 (PXW-FX9/ILME-FX6 (Ver.4まで) 以外)

[カムコーダーを操作する](#)

[メディア内のクリップを操作する](#)

[Proxyファイルのみを記録する](#)

ライブロギング

[ライブロギングについて](#)

[ライブロギングする](#)

[エッセンスマークボタンの名前を変更する](#)

映像の一覧表示

[クリップの一覧を表示する](#)

[クリップを再生する](#)

[クリップの名前を変更する](#)

[クリップを削除する](#)

[接続機器のProxyクリップをモバイル端末にダウンロードする](#)

[接続機器のクリップをアップロードする](#)

[モバイル端末のクリップを共有する](#)

[モバイル端末のクリップをアップロードする \(iOS\)](#)

[SDカードのフォーマットをする](#)

クリップの操作

[クリップの再生について](#)

[クリップのメタデータを編集する](#)

[プレーヤー画面で接続機器のProxyクリップをモバイル端末にダウンロードする](#)

[プレーヤー画面で接続機器のクリップをアップロードする](#)

[プレーヤー画面で接続機器のクリップを部分アップロードする](#)

プランニングメタデータ

[プランニングメタデータとは](#)

[プランニングメタデータをインポートする](#)

[プランニングメタデータを新規作成する](#)

[プランニングメタデータを表示する](#)

[プランニングメタデータを編集する](#)

[プランニングメタデータをロードする](#)

[プランニングメタデータの関連クリップをアップロードする](#)

ストーリーボード

[ストーリーボードとは](#)

[ストーリーボードを新規作成する](#)

[ストーリーボードを編集する](#)

[ストーリーボードをアップロードする](#)

ジョブリスト

[ジョブリストについて](#)

TCリンク

[TCリンクとは](#)

[複数のカムコーダーを接続する](#)

[タイムコードの同期を行う](#)

お知らせ

[商標](#)

接続機器別対応機能について

接続する機器やファームウェアのバージョンによっては、本アプリを使用して操作できる機能/できない機能があります。

ここでは、接続する機器で操作できるかどうかを確認する方法について説明します。確認は、本アプリケーションをインストールしたスマートフォンやタブレットなどのモバイル端末（以降、「モバイル端末」と呼びます）と機器を接続してからお試しください。

【】(メニュー) をタップして確認できる機能

- 接続機器内のクリップを一覧表示する機能
[ブラウザ] が表示される。
- プランニングメタデータを接続機器にロードする機能、関連クリップを送る機能
[プランニングメタデータ] が表示される。
- ストーリーボードを作成する機能
[ストーリーボード] が表示される。
- 接続機器内のクリップ転送状況を確認する機能
[ジョブリスト] が表示される。
- 接続機器の設定をする機能 (Network関連のみ)
[設定] に接続機器名が表示される。

接続機器を操作して確認できる機能

- ライブロギング
[「ライブロギングする」をご覧ください。](#)
- 接続機器内のProxyクリップをモバイル端末にダウンロードする機能
[「接続機器のProxyクリップをモバイル端末にダウンロードする」をご覧ください。](#)
[「プレーヤー画面で接続機器のProxyクリップをモバイル端末にダウンロードする」をご覧ください。](#)
- 接続機器内のクリップをアップロードする機能
[「接続機器のクリップをアップロードする」をご覧ください。](#)
[「プレーヤー画面で接続機器のクリップをアップロードする」をご覧ください。](#)
- 接続機器内のクリップを部分アップロードする機能
[「プレーヤー画面で接続機器のクリップを部分アップロードする」をご覧ください。](#)
- 接続機器内のクリップのMetadataを編集する機能
[「クリップのメタデータを編集する」をご覧ください。](#)
- クリップの名前を変更する機能
[「クリップの名前を変更する」をご覧ください。](#)
- クリップを削除する機能
[「クリップを削除する」をご覧ください。](#)
- Proxy用SDカードをフォーマットする機能
[「SDカードのフォーマットをする」をご覧ください。](#)

ご注意

- IntelプロセッサのAndroid端末の場合、接続する機器によっては、[モニタリング]は使用できません。

関連項目

- [Wi-Fiで接続する](#)
- [NFCタッチで接続する（Androidのみ）](#)
- [USBデザリングで接続する](#)
- [有線LANで接続する](#)

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation

入力文字について

ご注意

- クリップの名前変更やプランニングメタデータ名などでは、下記の文字は入力できません。
¥ / : * ? " < > |
先頭のスペースおよび先頭のドットなど

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation

Wi-Fiで接続する

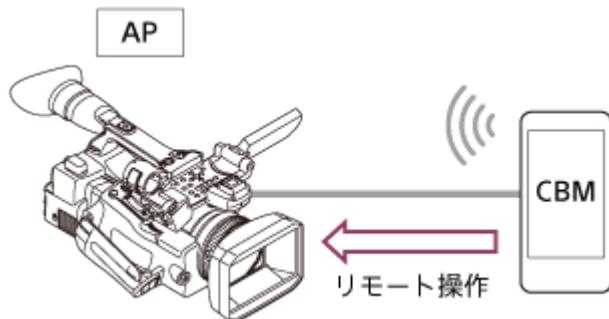
モバイル端末と接続したい機器をWi-Fi接続します。

ご注意

- あらかじめモバイル端末とワイヤレスアダプターCBK-WA100/101など本アプリケーション対応機器（以降、「対応機器」と呼びます）をWi-Fi接続する必要があります。対応機器の設定が「AP」（アクセスポイントモード）になっている場合は、その対応機器に接続してください。「ST」（ステーションモード）になっている場合は、対応機器と同じアクセスポイントに接続してください。
- 「ST」に対応している機器の場合、モバイル端末のWi-Fiテザリングにより接続することが可能です。この場合は、あらかじめ対応機器をモバイル端末に接続しておいてください。
- 「ST」に対応している機器でCamera Remote Control設定がある場合は、「Enable」に設定してください。
- アクセス認証の設定がない対応機器では、手順4は必要ありません。
アクセス認証の初期設定がない対応機器、または、アクセス認証の初期設定を変えた場合は、手順4を行ってください。

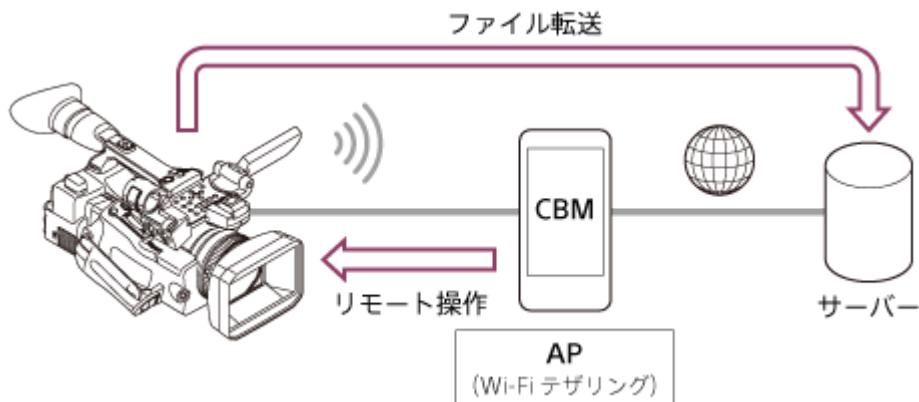
カムコーダーをリモート操作する場合

カムコーダーをアクセスポイント（AP）にして、モバイル端末でカムコーダーをリモート操作します。

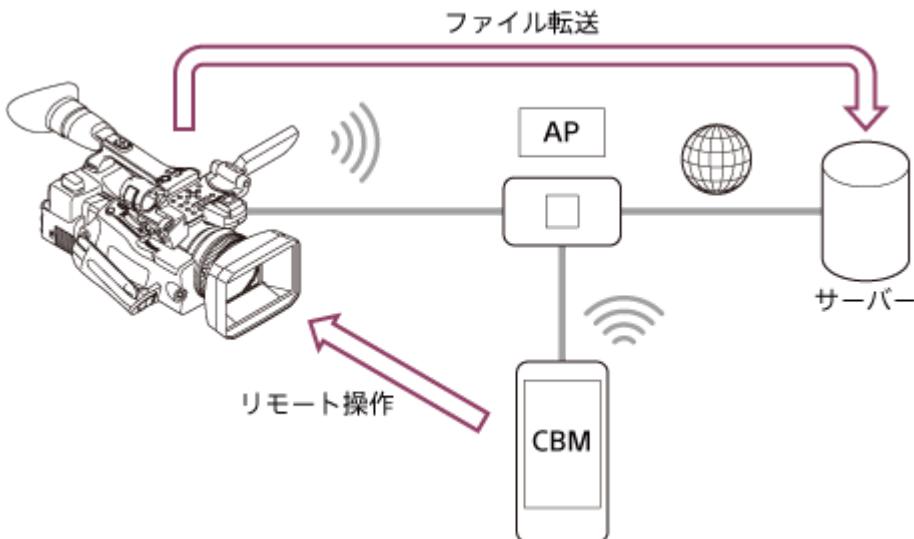


ST（ステーションモード）対応機器でファイル転送する場合

モバイル端末をアクセスポイント（AP）にして、カムコーダーをリモート操作およびカムコーダーからサーバーへファイルを転送します。



モバイルWi-Fiルーターをアクセスポイント（AP）にして、カムコーダーをリモート操作およびカムコーダーからサーバーへファイルを転送します。



1 (メニュー) の [接続] をタップする。

2 [更新] をタップする。

接続可能な対応機器が表示されます。

3 接続する機器をタップする。

4 対応機器で設定した [User Name] (ユーザー名) と [Password] (パスワード) を入力する。

認証ダイアログにフィンガープリントが表示される場合は、接続しようとしている機器のフィンガープリントと一致していることを確認してください。

認証に成功すると接続が完了し、メニュー画面が表示されます。

QRコードで接続する

認証ダイアログに [QRコード読み取り] ボタンが表示される場合は、QRコードによる接続が可能です。

手順4で認証ダイアログの [QRコード読み取り] をタップします。

接続する機器の画面にQRコードを表示させ、モバイル端末でQRコードを読み取ると、ユーザー名とパスワードが自動で入力されます。

フィンガープリントによる一致確認が必要な機器では、フィンガープリントの一致確認も自動で実施します。

ご注意

- セキュリティの面から、定期的にパスワードを変更することを推奨します。
- 認証ダイアログで、 のアイコンをタップするとパスワードが表示された状態になります。パスワードを第三者に盗み見られるおそれがありますのでご注意ください。
- 認証に成功したユーザー名とパスワードは本アプリに保存されますので、次回の接続時には手順4は必要ありません。保存されたユーザー名とパスワードを消去したい場合は、「[登録されているユーザー名とパスワードを消去する](#)」をご覧ください。
- 接続機器でのQRコードの表示、およびフィンガープリントの表示について詳しくは、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

ヒント

- 切断するには、接続中の機器をタップしてください。
- 機器情報を表示するには、接続中の機器の をタップしてください。
- 接続機器のネットワーククライアントモードがOnの場合、ネットワーククライアントモードの接続状態が表示されます。接続状態は、 (接続中 (点滅))、 (接続完了)、 (接続エラー) の3つのアイコンで表示されます。

また、接続エラーの詳細理由などは **(i)** をタップして表示される画面のNCMステータスに表示されます。

- 検索対象のネットワークインターフェース（Wi-Fi、Tethering、Wired LAN、No active I/F）が画面上部に表示されます。

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation

NFCタッチで接続する (Androidのみ)

NFC機能搭載のモバイル端末と接続したい機器をNFC機能を使ってワンタッチ接続します。

ご注意

- あらかじめモバイル端末の【設定】メニュー内でNFC機能を有効にしてください。
- 接続機器のNFC機能を有効にする手順は機器によって異なります。詳しくは各機器の取扱説明書でご確認ください。
- Android 6.0以上の端末の場合、対応機器でSSIDのパスワードを変更後、NFCタッチをすると接続できない場合があります。この場合は、モバイル端末のWi-Fi設定で該当SSIDを削除し、もう一度NFCタッチしてください。
- モバイル端末によっては、NFCタッチでの接続に失敗することや、接続後に切断することがあります。この場合は「Wi-Fiで接続する」の接続方法をお試しください。
- アクセス認証の設定がない対応機器では、手順2は必要ありません。
アクセス認証の初期設定がない対応機器、または、アクセス認証の初期設定を変えた場合は、手順2を行ってください。

1 モバイル端末のNマークと対応機器のNマークをタッチする。動かさずにタッチし続ける。

2 対応機器で設定した【User Name】(ユーザー名)と【Password】(パスワード)を入力する。

認証ダイアログにフィンガープリントが表示される場合は、接続しようとしている機器のフィンガープリントと一致していることを確認してください。

認証に成功すると接続が完了し、メニュー画面が表示されます。

QRコードで接続する

認証ダイアログに【QRコード読み取り】ボタンが表示される場合は、QRコードによる接続が可能です。

手順2で認証ダイアログの【QRコード読み取り】をタップします。

接続する機器の画面にQRコードを表示させ、モバイル端末でQRコードを読み取ると、ユーザー名とパスワードが自動で入力されます。

フィンガープリントによる一致確認が必要な機器では、フィンガープリントの一致確認も自動で実施します。

ご注意

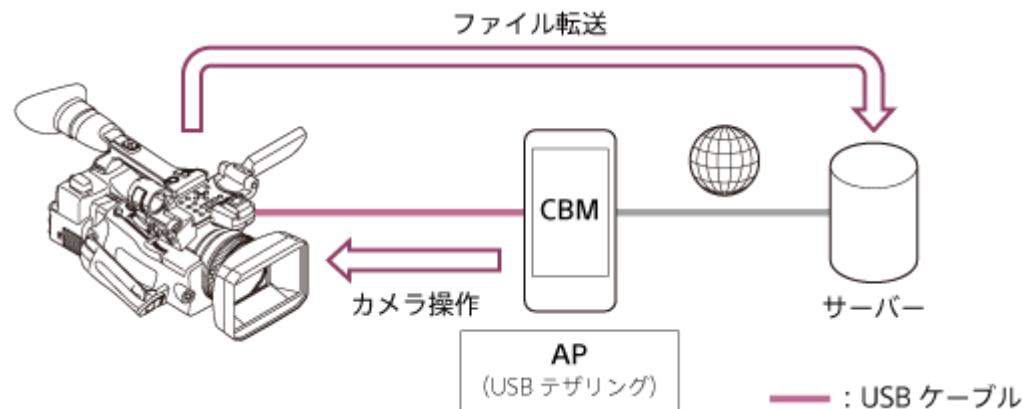
- 認証ダイアログで、のアイコンをタップするとパスワードが表示された状態になります。パスワードを第三者に盗み見られるおそれがありますのでご注意ください。
- 認証に成功したユーザー名とパスワードは本アプリに保存されますので、次回の接続時には手順2は必要ありません。
保存されたユーザー名とパスワードを消去したい場合は、「[登録されているユーザー名とパスワードを消去する](#)」をご覧ください。
- 接続機器でのQRコードの表示、およびフィンガープリントの表示について詳しくは、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

USBテザリングで接続する

モバイル端末と接続したい機器をUSBテザリングで接続します。

ご注意

- 接続機器がお使いのモバイル端末のUSBテザリングをサポートし、USBテザリングでのCamera Remote Controlに対応している必要があります。
- 「Modem」のCamera Remote Control設定を「Enable」に設定してください。
- アクセス認証の設定がない対応機器では、手順4は必要ありません。
アクセス認証の初期設定がない対応機器、または、アクセス認証の初期設定を変えた場合は、手順4を行ってください。



- 1 (メニュー) の【接続】をタップする。
- 2 【更新】をタップする。
接続可能な対応機器が表示されます。
- 3 接続する機器をタップする。
- 4 対応機器で設定した【User Name】(ユーザー名) と【Password】(パスワード) を入力する。
認証ダイアログにフィンガープリントが表示される場合は、接続しようとしている機器のフィンガープリントと一致していることを確認してください。
認証に成功すると接続が完了し、メニュー画面が表示されます。

QRコードで接続する

認証ダイアログに【QRコード読み取り】ボタンが表示される場合は、QRコードによる接続が可能です。

手順4で認証ダイアログの【QRコード読み取り】をタップします。

接続する機器の画面にQRコードを表示させ、モバイル端末でQRコードを読み取ると、ユーザー名とパスワードが自動で入力されます。

フィンガープリントによる一致確認が必要な機器では、フィンガープリントの一致確認も自動で実施します。

ご注意

- Wi-Fi接続とUSBテザリング接続の両方が有効な場合、USBテザリング接続している機器を検索します。
- 認証ダイアログで、 のアイコンをタップするとパスワードが表示された状態になります。パスワードを第三者に盗み見られるおそれがありますのでご注意ください。
- 認証に成功したユーザー名とパスワードは本アプリに保存されますので、次回の接続時には手順4は必要ありません。保存されたユーザー名とパスワードを消去したい場合は、「[登録されているユーザー名とパスワードを消去する](#)」をご覧ください。
- 接続機器でのQRコードの表示、およびフィンガープリントの表示について詳しくは、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

ヒント

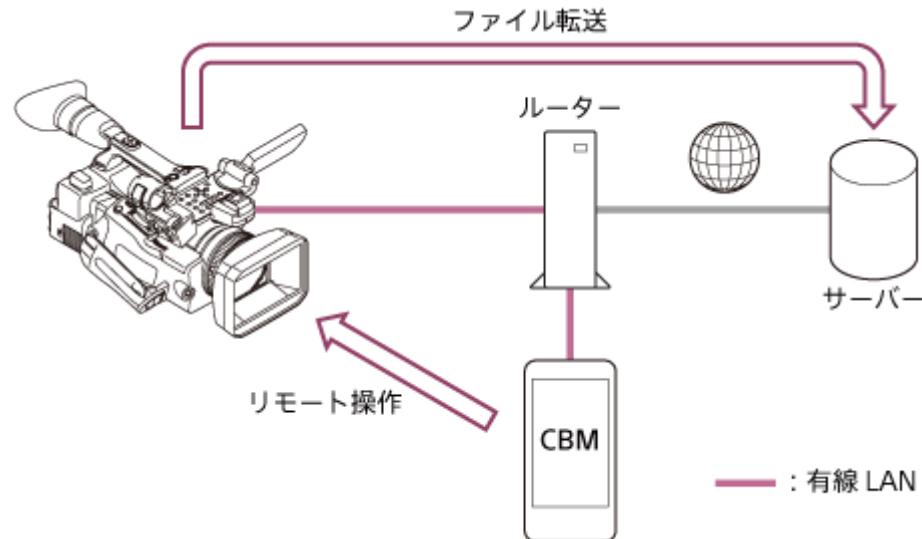
- 切断するには、接続中の機器をタップしてください。
- 機器情報を表示するには、接続中の機器の  をタップしてください。
- 接続機器のネットワーククライアントモードがOnの場合、ネットワーククライアントモードの接続状態が表示されます。接続状態は、 (接続中 (点滅))、 (接続完了)、 (接続エラー) の3つのアイコンで表示されます。また、接続エラーの詳細理由などは  をタップして表示される画面のNCMステータスに表示されます。
- 検索対象のネットワークインターフェース (Wi-Fi、Tethering、Wired LAN、No active I/F) が画面上部に表示されます。

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation

有線LANで接続する

モバイル端末と接続したい機器を有線LANで接続します。

Wi-Fiでの接続と同様に、有線LANでリモート操作およびファイル転送などが可能です。



Android端末

モバイル端末がUSB Ethernetアダプターに対応している場合、USB Ethernetアダプターを使用して有線LAN接続が可能です。

接続方法はモバイル端末によって異なります。詳しくは各モバイル端末の取扱説明書をご確認ください。

iOS端末

Lightning - USB 3カメラアダプターとUSB Ethernetアダプターなどを使用して有線LAN接続が可能です。

ご注意

- 「Wired LAN」に対応している機器でCamera Remote Control設定がある場合は、「Enable」に設定してください。
- アクセス認証の設定がない対応機器では、手順4は必要ありません。
アクセス認証の初期設定がない対応機器、または、アクセス認証の初期設定を変えた場合は、手順4を行ってください。

① **【メニュー】の【接続】をタップする。**

② **【更新】をタップする。**

接続可能な対応機器が表示されます。

③ **接続する機器をタップする。**

④ **対応機器で設定した【User Name】(ユーザー名)と【Password】(パスワード)を入力する。**

認証ダイアログにフィンガープリントが表示される場合は、接続しようとしている機器のフィンガープリントと一致していることを確認してください。

認証に成功すると接続が完了し、メニュー画面が表示されます。

QRコードで接続する

認証ダイアログに【QRコード読み取り】ボタンが表示される場合は、QRコードによる接続が可能です。

手順4で認証ダイアログの【QRコード読み取り】をタップします。

接続する機器の画面にQRコードを表示させ、モバイル端末でQRコードを読み取ると、ユーザー名とパスワードが自動で入力されます。

フィンガープリントによる一致確認が必要な機器では、フィンガープリントの一致確認も自動で実施します。

ご注意

- Wi-Fi接続と有線LAN接続の両方が有効な場合、有線LAN接続している機器を検索します。
- 認証ダイアログで、 のアイコンをタップするとパスワードが表示された状態になります。パスワードを第三者に盗み見られるおそれがありますのでご注意ください。
- 認証に成功したユーザー名とパスワードは本アプリに保存されますので、次回の接続時には手順4は必要ありません。保存されたユーザー名とパスワードを消去したい場合は、「[登録されているユーザー名とパスワードを消去する](#)」をご覧ください。
- 接続機器でのQRコードの表示、およびフィンガープリントの表示について詳しくは、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

ヒント

- 検索対象のネットワークインターフェース（Wi-Fi、Tethering、Wired LAN、No active I/F）が画面上部に表示されます。

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation

登録されているユーザー名とパスワードを消去する

機器を接続したときに入力したユーザー名とパスワードをContent Browser Mobileから消去します。

- 1  (メニュー) の [接続] をタップする。
- 2  (コンテキストメニュー) の [認証情報を消去] をタップする。
確認ダイアログが表示されます。
- 3 [OK] をタップする。

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation

カムコーダーを操作する

1 (メニュー) の [モニタリング] をタップする。

次の操作ができます。

ご注意

- オーディオのモニタリングは対応していません。
- 接続機器の制限などでモニタリングができない場合は、「The connected device can't stream to this app for some reasons.」とメッセージが表示されます。

映像を記録するには

 をタップします。

記録を停止するときは、 をタップします。

ヒント

- 接続機器でProxyを同時記録する設定にしている場合は、Proxyファイルも同時に記録されます。

[WB]、[ND]、[IRIS]、[GAIN]、[EI]、[SHUT]、[FOCUS]、[ZOOM]、 [Gamma] / [Monitor LUT] (PXW-FX9)、 [Scene file] / [Base look] (ILME-FX6 (Ver.4まで)) を変更するには

各項目のアイコンをタップし、表示されるスライダーを調整したり、リスト項目を選択して設定値を変更できます。

ヒント

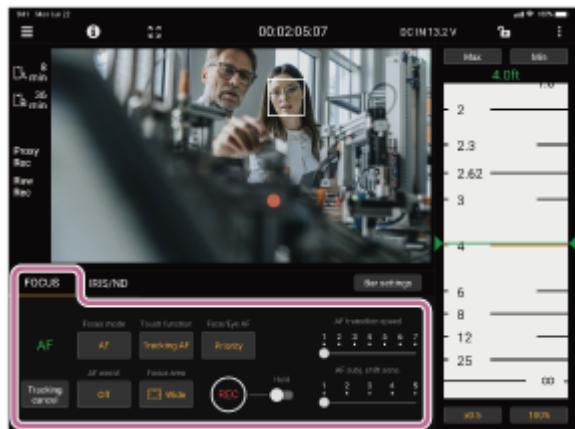
- 接続している機器やShooting Modeにより、操作可能な項目が異なります。
- 画面の周囲に接続機器のバッテリー残量やメディア残量などが表示されます。
- 横画面表示のときに をタップすると、画面表示領域が切り替わります。
-  をタップすると、記録フォーマットなどの情報が表示されます。
- 設定変更できない項目は、設定値が白文字で表示されます。
-   をタップして、画面制御をロックしたり解除したりできます。

フォーカスやアイリス/NDフィルターを調整する (ILME-FX6 (Ver.4まで) のみ)

- 1  (メニュー) の [モニタリング] をタップする。
 - 2  (コンテキストメニュー) の [カメラ制御 2] をタップする。
- 次の操作ができます。

フォーカスを調整するには

[FOCUS] タブをタップし、表示される各項目を設定してフォーカスを調整できます。各項目について詳しくは、カムコーダーの取扱説明書をご覧ください。



[AF] / [MF]

現在のフォーカスの動作状態を表示します。

[Focus mode]

[AF] 、 [MF] から選択します。

[Touch function]

- [Tracking AF] : カメラ映像をタップして、追尾するフォーカス対象を指定します。
- [Spot focus] : [Focus mode] が [MF] のとき、カメラ映像をタップしてフォーカスを合わせる位置を指定します。
- [Focus area] : [Focus area] が [Zone] または [Spot] のとき、カメラ映像をタップして表示されているフォーカスエリア枠を移動します。
- [Off] : カメラ映像のタップによる操作を無効にします。

[Face/Eye AF]

[Only] 、 [Priority] 、 [Off] から選択します。

[AF assist]

[On] 、 [Off] から選択します。

[Focus area]

[Wide] 、 [Zone] 、 [Spot] から選択します。

[Tracking cancel]

タップして追尾を中止します。

[REC] ボタン/ [REC] ロック

映像の記録を開始するときは  をタップし、停止するときは  をタップします。  をタップすると [REC] ボタンの制御をロック／解除できます。

[AF transition speed]

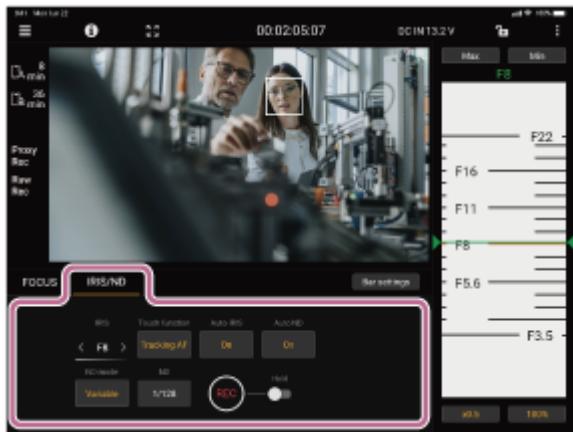
[1] ~ [7] から選択します。

[AF subj. shift sens.]

[1] ~ [5] から選択します。

アイリス/NDフィルターを調整するには

[IRIS/ND] タブをタップし、表示される各項目を設定してアイリス/NDフィルターを調整できます。本アプリでアイリスの操作を行うには、レンズのアイリスリングを「A」ポジションにする必要があります。各項目について詳しくは、カムコーダーの取扱説明書をご覧ください。



[IRIS]

↖ / ↘ をタップしてF値を選択します。

[Touch function]

- [Tracking AF] : カメラ映像をタップして、追尾するフォーカス対象を指定します。
- [Spot focus] : [Focus mode] が [MF] のとき、カメラ映像をタップしてフォーカスを合わせる位置を指定します。
- [Focus area] : [Focus area] が [Zone] または [Spot] のとき、カメラ映像をタップして表示されているフォーカスエリア枠を移動します。
- [Off] : カメラ映像のタップによる操作を無効にします。

[Auto IRIS]

[On] 、 [Off] から選択します。

[ND mode]

[Variable] 、 [Preset] から選択します。 [Preset] 選択時、本アプリではNDフィルターのポジションは選択できません。

[ND]

[1/128] ~ [1/4] 、 [Clear] から選択します。 [ND mode] が [Variable] のときに選択可能です。

[Auto ND]

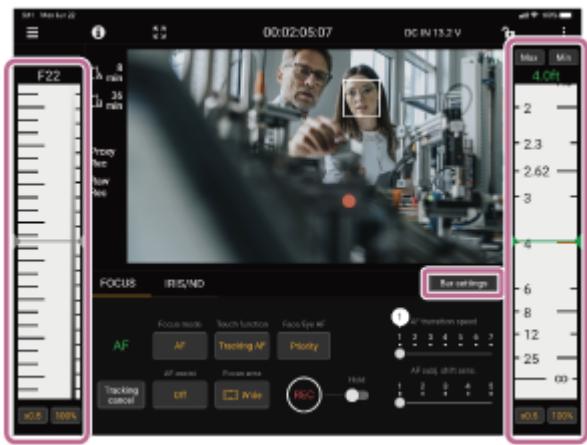
[On] 、 [Off] から選択します。 [ND mode] が [Variable] のときに選択可能です。

[REC] ボタン / [REC] ロック

映像の記録を開始するときは をタップし、停止するときは をタップします。 をタップすると [REC] ボタンの制御をロック／解除できます。

操作バーから調整するには

左右の操作バーをスクロールし、フォーカスとアイリスを調整できます。



[Bar settings]

- [Left bar] [Right bar] : 左右の操作バーに表示する設定項目を [FOCUS] 、 [IRIS] 、 [IRIS (Relative)] 、 [None] から選択します。 [Reverse] にチェックを入れると、操作バーの目盛りの昇順／降順が入れ替わります。初期設定では右の操作バーのみ表示されています。
- [Focus distance display] : 表示単位を設定します。
- [Detection/Tracking frame color] : 顔/瞳検出枠および物体追尾枠の色を設定します。

[Max] / [Min]

現在の設定値を上限または下限に設定し、その値を超える操作バーのスクロールを無効にします。

[x0.1] ~ [x1.5]

操作バーのスクロール速度を選択します。

[50%] ~ [350%]

操作バーの表示倍率を選択します。

フォーカスの操作バーについて

距離指定のマニュアルフォーカス操作ができないレンズの場合、フォーカスの操作バーは%表示になります。以下のレンズは距離指定のマニュアルフォーカス操作が可能です。

- SEL85F18 (85mm F1.8)
- SEL1224G (12-24mm F4)
- SEL24F14GM (24mm F1.4)
- SEL24105G (24-105mm F4)
- SEL70200G (70-200mm F4)
- SEL24240 (24-240mm F3.5-6.3)
- SELP28135G (28-135mm F4)
- SEL100F28GM (100mm F2.8)*
- SEL2470GM (24-70mm F2.8)
- SEL50F14Z (50mm F1.4)
- SEL85F14GM (85mm F1.4)
- SEL70300G (70-300mm F4.5-5.6)
- SEL100400GM (100-400mm F4.5-5.6)
- SEL70200GM (70-200mm F2.8)
- SEL1635GM (16-35mm F2.8)
- SEL400F28GM (400mm F2.8)
- SEL18135 (18-135mm F3.5-5.6)
- SEL135F18GM (135mm F1.8)
- SEL200600G (200-600mm F5.6-6.3)
- SEL600F40GM (600mm F4)
- SEL1655G (16-55mm F2.8)
- SEL70350G (70-350mm F4.5-6.3)
- SELC1635G (16-35mm F2.8)
- SEL35F18F (35mm F1.8)
- SEL20F18G (20mm F1.8)
- SEL1224GM (12-24mm F2.8)

- SEL50F12GM (50mm F1.2)
- SEL14F18GM (14mm F1.8)
- SEL2860 (28-60mm F4-5.6)
- SEL35F14GM (35mm F1.4)
- SEL24F28G (24mm F2.8)
- SEL40F25G (40mm F2.5)
- SEL50F25G (50mm F2.5)

* マクロ切り替えリングを「0.85m-∞」に設定した場合のみ距離指定が可能です。

フォーカスの枠について

フォーカスの設定にしたがって、カメラ映像に次の枠が表示されます。

- フォーカスエリア枠（通常時）
- フォーカスエリア枠（移動可能時）
- 顔/瞳検出枠
- 物体追尾枠

ヒント

- 横画面表示のときに / をタップすると、画面表示領域が切り替わります。

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation

アサインブルボタンを操作する (ILME-FX6 (Ver.4まで) のみ)

- ①  (メニュー) の [モニタリング] をタップする。
 - ②  (コンテキストメニュー) の [アサイン] をタップする。
- アサインブルボタンの設定と実行ができます。

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation

Content Browser Mobile

メディア内のクリップを操作する

- 1  (メニュー) の [モニタリング] をタップする。
- 2  (コンテキストメニュー) の [プレイバック] をタップする。
次の操作ができます。

クリップを再生するには

再生コントロールで次の操作ができます。

- | | |
|--|--------------|
|  ▶/■ | 再生/一時停止 |
|  ◀◀ | 早戻し |
|  ▶▶ | 早送り |
|  ■ | 再生を終了 |
|  ◀◀ | 前のクリップに移動 |
|  ▶▶ | 次のクリップに移動 |
|  Rec Review | 最後に記録した映像を再生 |

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation

カムコーダーを操作する

1 (メニュー) の [モニタリング] をタップする。

次の操作ができます。

ご注意

- オーディオのモニタリングは対応していません。
- モニタリングが不安定な場合は  が、接続機器の制限などでモニタリングができない場合は、 と「The connected device can't stream to this app for some reasons.」のメッセージが表示されます。

映像を記録するには

-  をタップします。
記録を停止するときは、 をタップします。

ヒント

- 接続機器でProxyを同時記録する設定にしている場合は、Proxyファイルも同時に記録されます。

[IRIS] 、 [FOCUS] 、 [ZOOM] 、 [R GAIN] 、 [B GAIN] を変更するには

[Lens] タブまたは [WB] タブの各項目の入力欄をタップし、表示されるスライダーをドラッグして設定値を変更できます。

ヒント

- カムコーダーの一部モデルでは、 [IRIS] を選択時、画面右端の  /  をタップすると [IRIS] をステップ刻みで微調整できます。

アイリス、フォーカス、ホワイトバランスを自動設定にするには

[Lens] タブの [Auto Iris] / [Auto Focus] 、または [WB] タブの [ATW] を選択して各項目を自動設定に変更できます。

タッチフォーカスするには

タッチフォーカス機能を搭載している機器と接続して表示される  は、タッチフォーカスを有効  にできます。あらかじめ機器の「FOCUS」スイッチを [MAN] にしておく必要があります。

 をタップすると  に変化します。カメラ映像の任意のエリアをタップすると、オートフォーカス枠が白く表示され、ピントがあうと緑色に変化後、非表示となります。

ヒント

- 画面上端に接続機器の映像記録状態やメディア残量など（一部の機器のみ）が表示されます。
- 横画面表示のときに  をタップすると全画面表示になります。
-  をタップすると、記録フォーマットなどの情報が表示されます（一部の機器のみ）。
- 自動設定されている項目は、設定値が白文字で表示されます。

●  をタップして、画面制御をロックしたり解除したりできます。

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation

メディア内のクリップを操作する

1  (メニュー) の [モニタリング] をタップする。

2 [Play] をタップする。

次の操作ができます。

クリップを再生するには

再生コントロールで次の操作ができます。

-  再生/一時停止
-  早戻し
-  早送り
-  再生を終了
-  前のクリップに移動
-  次のクリップに移動
-  最後に記録した映像を再生

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation

Proxyファイルのみを記録する

1  (メニュー) の [モニタリング] をタップする。

2 [Proxy] をタップする。

3 [Proxy] タブの  をタップして記録する。

記録を停止するときは、 [Proxy] タブの  をタップします。

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation

Content Browser Mobile

ライブロギングについて

接続している機器が映像を記録しているとき、記録中のクリップにエッセンスマークを追加することができます。これをライブロギングと呼びます。

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation

ライブロギングする

ご注意

- モニタリングの画面のコンテキストメニューに【ライブロギング】が表示されない場合、お使いの機器ではこの機能は使えません。

- 1  (メニュー) の【モニタリング】をタップする。
- 2  (コンテキストメニュー) の【ライブロギング】をタップする。
- 3  ボタンをタップして、記録を開始する。
- 4 エッセンスマークを追加したいシーンで  ShotMark1 をタップする。
タップしたポイントのフレーム近傍に、タップしたボタン名のエッセンスマークが追加されます。
この操作を繰り返します。
- 5  ボタンをタップして、記録を停止する。
ライブロギング操作は終了です。

ご注意

- エッセンスマークボタンをタップできるのは録画中のみです。録画中以外はボタンがグレイ表示されてタップできません。
- エッセンスマークは126個まで追加できます。
- 追加したエッセンスマークは、接続機器でProxyを同時記録する設定にしている場合はHigh-Res/Proxyクリップの両方に反映されます。ただし、ワイヤレスアダプター、または機器に内蔵されているワイヤレスLAN接続機能のファームウェアのバージョンがVer.2.00未満の場合、あるいは、対応機器でProxyを同時記録に設定していない場合は、High-Resクリップのみに記録されます。

エッセンスマーカーの名前を変更する

- 1 **■ (メニュー) – [設定] の [アプリケーション] をタップする。**
- 2 表示されるメニューから [エッセンスマーカー] をタップする。
- 3 変更したいエッセンスマーカーをタップする。
- 4 [カスタム] を選択し、テキストフィールドをタップする。
- 5 表示されたダイアログで新しい名前を入力する。

ご注意

- ASCII、UTF-16ともに32バイトまで入力できます。
- 先頭に「_」（アンダースコア）は使用できません。

クリップの一覧を表示する

① (メニュー) – [ブラウザ] をタップする。

接続機器のProxyクリップ、接続機器のHigh-Resクリップ、モバイル端末にダウンロードしたProxyクリップがタブごとに表示されます。

一覧表示形式を切り替えるには

または  をタップすると、グリッド表示と一覧表示を切り替えることができます。

クリップを並べ替えるには

 (コンテキストメニュー) の [並べ替え] をタップします。作成順または名前、コーデック、長さの、昇順または降順で並べ替えることができます。

クリップを再生する

1 (メニュー) – [ブラウザ] をタップする。

タブ内にクリップが一覧で表示されます。

2 クリップをタップする。

プレイヤー画面に切り替わり、クリップの先頭から再生が始まります。再生方法について詳しくは、「[クリップの再生について](#)」をご覧ください。

ご注意

- 下記の文字をクリップ名に使用しているクリップは再生できません。
¥ / : * ? " < > |
- Proxyクリップのご注意
 - Proxyがインターレースの場合は、iOSの全端末およびAndroidの一部の端末で再生できません。
 - Proxyが分割クリップの場合は再生できません。
- High-Resクリップのご注意
 - ProxyがないHigh-Resクリップは再生できません。
 - Proxyがインターレースの場合は、iOSの全端末およびAndroidの一部の端末で再生できません。
 - Proxyが分割クリップの場合は再生できません。

ヒント

- High-ResファイルとProxyファイルが同時記録され、それぞれのデュレーションが一致したクリップは、サムネイルにが表示されます。High-Resクリップの再生ではProxyファイルを使用します。
- Proxy分割クリップの場合は、クリップ名の後ろに「:Chunk」が表示されます。

クリップの名前を変更する

ご注意

- 以下の手順で  が表示されない場合、お使いの機器ではこの機能は使えません。

1 (メニュー) – [ブラウザ] をタップする。

タブ内にクリップが一覧で表示されます。

2 名前を変更したいクリップのチェックボックスにチェックを入れる。

3 をタップする。

4 表示されたダイアログで新しい名前を入力する。

5 [OK] をタップして更新する。

ご注意

- 接続機器のHigh-Resクリップの名前の変更はできません。
- Proxy分割クリップの名前の変更はできません。

クリップを削除する

ご注意

- 以下の手順で  が表示されない場合、お使いの機器ではこの機能は使えません。

1 (メニュー) – [ブラウザ] をタップする。

タブ内にクリップが一覧で表示されます。

2 削除したいクリップのチェックボックスにチェックを入れる。

3 をタップする。

4 確認ダイアログで [OK] をタップする。

ご注意

- 接続機器のHigh-Resクリップの削除はできません。
- Proxy分割クリップの削除はできません。

接続機器のProxyクリップをモバイル端末にダウンロードする

ご注意

- 以下の手順で  が表示されない場合、お使いの機器ではこの機能は使えません。

1  (メニュー) – [ブラウザ] をタップする。

2 [Proxy] タブを選択する。

クリップが一覧で表示されます。

3 ダウンロードしたいクリップのチェックボックスにチェックを入れる。

4  をタップする。

選択したクリップがジョブリストに追加され、ダウンロードされます。

ダウンロード状況を確認するには、 (メニュー) – [ジョブリスト] の [ダウンロード] をタップします。

ヒント

- 同一クリップ名が存在した場合の動作（名前を変更して追加/上書き/失敗）は、 (メニュー) – [設定] の [アプリケーション] – [ダウンロード] – [同一クリップ名] で設定できます。
- モバイル端末へのダウンロード先を  (メニュー) – [設定] の [アプリケーション] – [ダウンロード] – [転送先] で指定できます。 [アプリストレージ]、または [共有ストレージ (DCIM)] (Android) / [共有ストレージ (Photos)] (iOS) が選択できます。
[アプリストレージ] を選択した場合、ダウンロードしたクリップをブラウザ画面で閲覧できます。iOSではFiles Appでも閲覧可能です。
[共有ストレージ (DCIM)] (Android) / [共有ストレージ (Photos)] (iOS) を選択した場合、ブラウザ画面での閲覧はできません。iOSではPhotos、Androidではファイルアプリで閲覧が可能です。
- Proxy分割クリップのダウンロードはできません。

接続機器のクリップをアップロードする

FTPサーバーにアップロードする場合は、あらかじめアップロード先FTPサーバーを接続機器で設定、または **≡** (メニュー) – [設定] の接続機器名をタップし、 [Upload Settings] で設定する必要があります。

ご注意

- 以下の手順で **▲** が表示されない場合、お使いの機器ではこの機能は使えません。

1 **≡** (メニュー) – [ブラウザ] をタップする。

2 [Proxy] タブまたは [High-Res] タブを選択する。

クリップが一覧で表示されます。

3 アップロードしたいクリップのチェックボックスにチェックを入れる。

4 **▲** をタップする。

5 アップロード設定をする。

表示されるアップロード設定ダイアログで、 [転送先] などを設定します。

6 [OK] をタップする。

選択したクリップがジョブリストに追加され、アップロードされます。

アップロード状況を確認するには、 **≡** (メニュー) – [ジョブリスト] の [アップロード] をタップします。

モバイル端末のクリップを共有する

モバイル端末にダウンロードしたクリップを、動画共有サービスなどの他のアプリケーションに共有できます。

- 1 **≡ (メニュー) – [ブラウザ] をタップする。**
- 2 **[App] タブを選択する。**
クリップが一覧で表示されます。
- 3 **共有したいクリップのチェックボックスにチェックを入れる。**
- 4 **□ をタップする。**
- 5 **表示されるアプリケーションの中から使用するアプリケーションをタップして確定する。**
選択したアプリケーションが起動します。
- 6 **アプリケーションの画面にしたがって共有する。**

モバイル端末のクリップをアップロードする (iOS)

あらかじめアップロード先FTPサーバーを、**☰** (メニュー) – [設定] の [アプリケーション] – [サーバー設定] で設定する必要があります。

- 1** **☰** (メニュー) – [ブラウザ] をタップする。
- 2** [App] タブを選択する。
クリップが一覧で表示されます。
- 3** アップロードしたいクリップのチェックボックスにチェックを入れる。
- 4** **▲** をタップする。
- 5** アップロード設定をする。
表示されるアップロード設定ダイアログで、[転送先] などを設定します。
- 6** [OK] をタップする。

SDカードのフォーマットをする

ご注意

- 以下の手順で [メディアのフォーマット] が表示されない場合、お使いの機器ではこの機能は使えません。

1  (メニュー) – [ブラウザ] をタップする。

2 [Proxy] タブを選択する。

クリップが一覧で表示されます。

3  (コンテキストメニュー) の [メディアのフォーマット] をタップする。

確認ダイアログが表示されます。

4 [OK] をタップする。

フォーマットを開始します。

ご注意

- SDカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去され、復元できません。

クリップの再生について

一覧表示されているクリップをタップすると、プレイヤー画面に切り替わり、クリップの先頭から再生を開始します。プレイヤー画面では、次の操作ができます。

映像をサーチするには

シークバーの  をドラッグします。また、タップした位置にジャンプします。

フレーム単位で戻す/進めるには

 /  をタップします。タップするたびに、1フレーム戻す/進めることができます。

ご注意

- iOS端末の場合は、 / をタップした時に、表示フレームが1フレームずれることができます。

クリップのメタデータを編集する

ご注意

- エッセンスマークを追加するには、あらかじめプレイヤー画面の [⋮] (コンテキストメニュー) から [エッセンスマークボタン] のチェックを付加し、エッセンスマートボタンを表示してください。
- 接続機器のクリップ再生で以下の状態にならない場合、お使いの機器ではこの機能は使えません。
 - [⋮] (コンテキストメニュー) をタップすると、エッセンスマートボタンが表示される。
 - Marksタブ内のエッセンスマートに [⋮] が表示される。
 - Propertyタブ内のタイトル、作成者、説明をタップするとテキストが入力できる。

1 メタデータを編集する。

エッセンスマートを追加

再生、シークしてエッセンスマートを追加したいシーンを探す。

ShotMark1 をタップする。

タップしたフレームにタップしたボタン名のエッセンスマートが追加されます。

追加したエッセンスマートは、シークバーや [Marks] タブをタップすると表示される一覧で確認できます。この操作を繰り返します。

[Marks] タブ

再生・シークしながらエッセンスマートを編集できます。

一覧表示でエッセンスマートの [⋮] をタップし、[削除] をタップしてエッセンスマートを削除します。

一覧表示でエッセンスマートの [⋮] をタップし、[名前の変更] をタップしてエッセンスマート名を変更します。

[Property] タブ

クリップのタイトル、作成者、説明を編集できます。

2 [⋮] をタップする。

編集内容は自動で保存されます。

ヒント

- 一覧表示でエッセンスマートをタップすると、そのフレームにジャンプします。
- モバイル端末を横向きにした状態でメタデータを確認したい場合は、ステータスバーの [◀] または [▶] をタップします。
- エッセンスマートボタンの名前を変更するには、「エッセンスマートボタンの名前を変更する」を参照してください。
- High-ResファイルとProxyファイルが同時記録され、それぞれのデュレーションが一致したクリップのメタデータを編集した場合は、High-Res/Proxyファイルの両方に編集内容が反映されます。ただし、High-Resクリップのメタデータ編集に対応していない接続機器の場合は、Proxyファイルのみに反映されます。

プレーヤー画面で接続機器のProxyクリップをモバイル端末にダウンロードする

ご注意

- 接続機器のクリップ再生で  が表示されない場合、お使いの機器ではこの機能は使えません。

1 をタップする。

クリップがジョブリストに追加され、ダウンロードされます。

ダウンロード状況を確認するには、 (メニュー) – [ジョブリスト] の [ダウンロード] をタップします。

ヒント

- 同一クリップ名が存在した場合の動作（名前を変更して追加/上書き/失敗）は、 (メニュー) – [設定] の [アプリケーション] – [ダウンロード] – [同一クリップ名] で設定できます。
- iOSの場合のみ、モバイル端末へのダウンロード先を  (メニュー) – [設定] の [アプリケーション] – [ダウンロード] – [転送先] で指定できます。 [ローカルストレージ] 、または [Photos] が選択できます。
[ローカルストレージ] を選択した場合は、ブラウザ画面での閲覧だけでなく、Files Appでも閲覧可能です。
[Photos] を選択した場合は、ブラウザ画面での閲覧はできません。Photosなどで閲覧可能です。

プレーヤー画面で接続機器のクリップをアップロードする

ご注意

- 接続機器のクリップ再生で  が表示されない場合、お使いの機器ではこの機能は使えません。

1  をタップする。

2 アップロード設定をする。

表示されるアップロード設定ダイアログで、[転送先] などを設定します。

3 [OK] をタップする。

クリップがジョブリストに追加され、アップロードされます。

アップロード状況を確認するには、 (メニュー) — [ジョブリスト] の [アップロード] をタップします。

プレーヤー画面で接続機器のクリップを部分アップロードする

プレーヤー画面で設定したイン点、アウト点間のクリップを部分的にアップロードできます。

ご注意

- 接続機器のクリップ再生で / が表示されない場合、お使いの機器ではこの機能は使えません。

1 シークして、イン点およびアウト点を / で設定する。

2 をタップする。

3 アップロード設定をする。

表示されるアップロード設定ダイアログで、[転送先]、[クリップ名]（部分アップロードで生成されるクリップ名）などを設定します。

4 [OK] をタップする。

クリップがジョブリストに追加され、部分アップロードされます。

アップロード状況を確認するには、 (メニュー) – [ジョブリスト] の [アップロード] をタップします。

ご注意

- 手順3で設定したイン点、アウト点はクリップに保存されません。
- クリップの部分アップロードでは、記録フォーマット、切り出し位置によって、切り出し位置の前後にマージンが付加される場合があります。

ヒント

- [イン/アウト] のタイムコードをタップすると、イン/アウト点にジャンプします。

プランニングメタデータとは

プランニングメタデータとは、撮影・記録の計画情報が記述されているXMLファイルです。

プランニングメタデータで、あらかじめ定義したタイトルをクリップ名として使用して撮影できます。

さらに、[Marks] タブであらかじめ設定したエッセンスマーク名でライブロギングすることもできます。

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation

Content Browser Mobile

プランニングメタデータをインポートする

1 ファイル共有アプリやメールに添付されたプランニングメタデータを選択する。

2 **CBM** をタップする。

Content Browser Mobileが起動し、選択したプランニングメタデータが本アプリケーションにインポートされ、表示されます。

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation

プランニングメタデータを新規作成する

- 1 **≡ (メニュー) – [プランニングメタデータ] をタップする。**
- 2 **[App] タブを選択する。**
プランニングメタデータの一覧が表示されます。
- 3 **+ をタップする。**
- 4 **表示されたダイアログで作成したいプランニングメタデータ名を入力する。**
- 5 **[OK] をタップする。**

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation

プランニングメタデータを表示する

1 **【メニュー】 – [プランニングメタデータ] をタップする。**

2 **[App] タブまたは接続機器名のタブを選択する。**

プランニングメタデータの一覧が表示されます。

3 **表示したいプランニングメタデータをタップする。**

プランニングメタデータの詳細が表示されます。

ヒント

- [Material] タブ（[App] タブでは表示されません）
プランニングメタデータを接続機器にロードして記録したクリップを表示します。クリップをタップすると簡易再生します。
Proxyファイルが接続機器のメディア内に存在する場合は、サムネイルに **Px** が表示されます。
High-Resファイルが接続機器のメディア内に存在する場合は、サムネイルに **HR** が表示されます。
- [Property] タブ
プランニングメタデータの基本情報等を表示します。
設定したタイトル1（ASCII形式）、タイトル2（UTF-8形式）はプランニングメタデータを接続機器にロードするとそのタイトルがクリップ名となります。
(接続機器の設定で、Auto Namingが「Plan」設定時)
- [Marks] タブ
設定されているマークを表示します。また、マークの追加・編集ができます。

プランニングメタデータを編集する

Content Browser Mobileに取り込んだプランニングメタデータを編集します。また、エッセンスマーク名を設定することもできます。

1 編集したいプランニングメタデータを表示する。

2 [Property] タブまたは [Marks] タブをタップして編集する。

[Property] タブ

タイトル1、タイトル2などを編集できます。

[Marks] タブ

[マーク1] ~ [マーク0] に表示するエッセンスマーク名を設定できます。

3  をタップする。

編集内容は自動で保存されます。

ご注意

- プランニングメタデータを削除するには、一覧表示されているプランニングメタデータのチェックボックスにチェックを入れて、 をタップしてください。削除はモバイル端末の [App] タブ内のみ可能です。

ヒント

- タイトル1はASCII形式（44文字以下）まで可能です。
- タイトル2はUTF-8形式（44バイト以下）まで可能です。
- エッセンスマークは、ASCII、UTF-16ともに32バイトまで入力できます。
- エッセンスマークの先頭に「_」（アンダースコア）は使用できません。

プランニングメタデータをロードする

クリップの記録時にプランニングメタデータに基づいた記録をするには、撮影前にプランニングメタデータをカムコーダー/レコーダーのメモリーにロードする必要があります。

- 1 ロードしたいプランニングメタデータを表示する。
- 2 [Property] タブまたは [Marks] タブで編集する。
- 3 [ロード] をタップする。

現在のアクティブスロットにプランニングメタデータがロードされます。アクティブスロットには ● が表示されています。

ロードが終わると完了メッセージが表示されます。

また、ロードされたプランニングメタデータにも ● が表示されます。

ヒント

- プランニングメタデータをロードすると、プランニングメタデータで設定したエッセンスマーク名はContent Browser Mobile のエッセンスマークボタンに割り当てられます。

プランニングメタデータの関連クリップをアップロードする

撮影時にロードされたプランニングメタデータに基づいて記録されたクリップは、撮影後にプランニングメタデータの関連クリップとして [Material] タブに表示されます。
この関連クリップを選択してアップロードすることができます。

- 1  (メニュー) – [プランニングメタデータ] をタップする。
- 2 接続機器名のタブを選択する。
プランニングメタデータの一覧が表示されます。
- 3 アップロードしたいプランニングメタデータをタップする。
[Material] タブに関連クリップの一覧が表示されます。
- 4  (コンテキストメニュー) – [クリップの切替] で転送対象 (Proxy/High-Res) を設定する。
- 5 アップロードしたい関連クリップのチェックボックスにチェックを入れる。
- 6  をタップする。
- 7 アップロード設定をする。
表示されるアップロード設定ダイアログで、[転送先] を設定します。
転送先が「Sony Ci」以外の場合、プランニングメタデータのタイトルの内容で転送先のディレクトリが作成されます。
- 8 [OK] をタップする。
選択した関連クリップとプランニングメタデータがジョブリストに追加され、アップロードされます。
アップロード状態を確認するには、 (メニュー) – [ジョブリスト] の [アップロード] をタップします。

ご注意

- Proxy分割クリップのアップロードはできません。

ストーリーボードとは

複数のクリップを並べてストーリーボードを作成できます。また、並べた各クリップのイン点、アウト点を設定してラフカット編集することができます。

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation

ストーリーボードを新規作成する

- 1  (メニュー) – [ストーリーボード] をタップする。
- 2  (新規作成) をタップする。
- 3 表示されたダイアログで作成したいストーリーボード名および説明を入力する。
- 4 [OK] をタップする。

ストーリーボードが新規作成され、編集画面が表示されます。

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation

ストーリーボードを編集する

ストーリーボードを開くには

- (メニュー) – [ストーリーボード] をタップし、一覧から編集したいストーリーボードをタップします。一覧表示されているストーリーボードのチェックボックスにチェックを入れて 、 または をタップすると、ストーリーボードのコピー、名前と説明の変更、削除ができます。編集画面の左上にストーリーボードの名前と全体の長さが表示されます。

ストーリーボード一覧のサムネイル

- ストーリーボード先頭クリップのサムネイルが表示されます。
- 空のストーリーボードでは、 が表示されます。

ストーリーボードのサムネイル

- 素材として使用されているクリップが接続機器に存在しない場合は、サムネイルに が表示されます。
- ProxyがないHigh-Resクリップの場合は、サムネイルに が表示されます。また、Proxyがインターレースでサムネイルを生成できない場合も が表示されます。

クリップを追加するには

- + をタップし、一覧から追加したいクリップのチェックボックスにチェックを入れて [追加] をタップします。一覧表示されているクリップをタップすると簡易再生します。追加できないクリップにはチェックボックスが表示されません。アクティブになっているクリップの後ろに追加されます。High-Resクリップには 、Proxyクリップには がサムネイルに表示されます。

クリップの位置を変えるには

画面下のサムネイルを長押しし、移動したい位置までドラッグします。

クリップを複製するには

画面下のサムネイルをタップし、枠内の – [複製] をタップします。元のクリップの後ろに複製されます。

クリップを削除するには

画面下のサムネイルをタップし、枠内の – [削除] をタップします。

クリップをトリミングするには

トリミングしたいクリップをタップし、シークして、イン点およびアウト点を / で設定します。

クリップのメタデータを編集するには

[Marks] タブのエッセンスマークの をタップし、[削除] または [名前の変更] をタップします。また、[Property] タブの [説明] をタップして説明を入力します。エッセンスマークを追加するには、再生、シークしてエッセンスマークを追加したいシーンを探し、 をタップします。

クリップのProxy/High-Resを切り替えるには

⋮ (コンテキストメニュー) から [Proxy] または [High-Res] をタップします。
切り替え可能なクリップは、Proxy/High-Resがリンク状態で、部分転送可能なフォーマットのクリップのみです。

ストーリーボードを再生するには

- ▶ をタップします。
- ◀ / ▶ をタップすると1フレーム戻す/進めることができます。
- [Play All] からチェックを外すと1クリップのみ再生します。
- 横画面表示のときに▢ をタップすると全画面表示になります。

ご注意

- iOS端末の場合は、◀ / ▶をタップした時に、表示フレームが1フレームずれことがあります。

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation

ストーリーボードをアップロードする

- 1  (メニュー) – [ストーリーボード] をタップする。
- 2 一覧からアップロードしたいストーリーボードをタップする。
- 3  をタップする。
- 4 アップロード設定をする。
表示されるアップロード設定ダイアログで、[転送先]、[EDLフォーマット]、[作成日時]（ファイル名に作成日時を付ける）などを設定します。
各クリップのファイル名は、ストーリーボード名と作成日時（選択した場合）、2桁の連番、クリップ名から作成されます。
- 5 [OK] をタップする。
ストーリーボードのクリップとEDLファイルがジョブリストに追加され、アップロードされます。
クリップはイン/アウト点区間で部分アップロードされます。
アップロード状態を確認するには、 (メニュー) – [ジョブリスト] の [アップロード] をタップします。

ご注意

- [EDLフォーマット] で「AAF」を選択できるのはAndroid端末のみです。
- 作成したストーリーボードをHigh-Res部分アップロード非対応機器で開いた場合など、ストーリーボード上の部分アップロードできないクリップのサムネイルには[▲]が表示されます。
- リンクされていないクリップがある場合、および部分アップロードできないクリップがある場合は、ストーリーボードをアップロードできません（[▲]が表示されません）。
- クリップの部分アップロードでは、記録フォーマット、切り出し位置によって、切り出し位置の前後にマージンが付加される場合があります。

ヒント

- EDLファイルには、ストーリーボードの説明、ストーリーボードに含まれている各クリップの説明、イン/アウト点、イン/アウト点区間のエッセンスマーカー情報などが記述されます。Adobe PremiereやFinal Cut ProなどのアプリケーションでEDLファイルをインポートし、同時にアップロードされるクリップをリンクすることで、ストーリーボード上の状態を復元することができます。各アプリケーションによって、復元可能な情報は異なるので、ご注意ください。

ジョブリストについて

ジョブリストには以下の2種類があります。

アップロードジョブリスト

接続機器内のクリップをアップロードするときに確認します。また、ジョブの状態確認やジョブの操作（中断・削除・開始）を行うことができます。

ダウンロードジョブリスト

接続機器内のProxyクリップをモバイル端末にダウンロードするときに確認します。また、ジョブの状態確認やジョブの操作（中断・削除・開始）を行うことができます。

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation

Content Browser Mobile

TCリンクとは

複数のカムコーダーで撮影する際、TCリンク機能を使って、各カムコーダーのタイムコードを同期させることができます。

TCリンク機能対応機種（「CBKZ-WTCL」（別売）が必要です。）

- PXW-Z90V
- PXW-Z90T
- HXR-NX80

ご注意

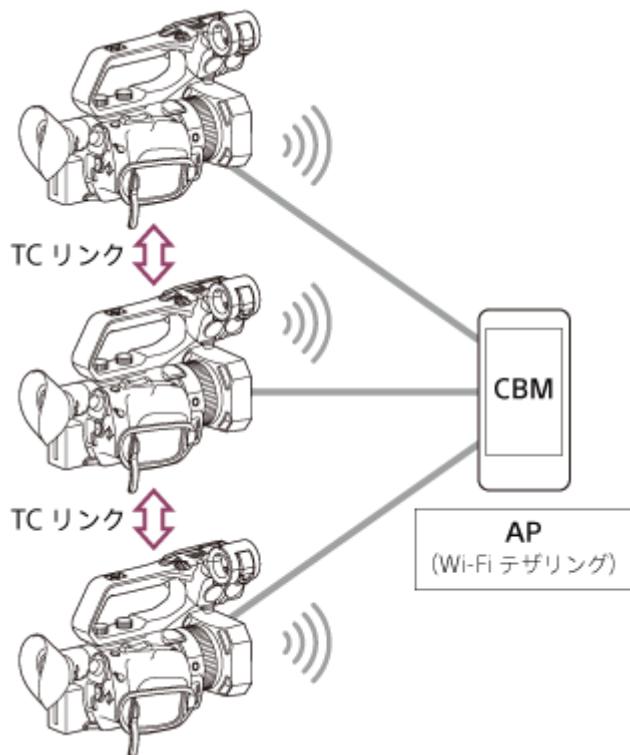
- 接続できるカムコーダーは5台までです。
- TCリンクモード中はContent Browser Mobileの他の機能は使えません。

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation

複数のカムコーダーを接続する

ご注意

- モバイル端末はテザリングモードに設定してください。
- 接続するすべてのカムコーダーを「ワイヤレスTC LINK」に設定してください。詳しくはカムコーダーの取扱説明書をご覧ください。



- 1 (メニュー) の [接続] をタップする。
- 2 (コンテキストメニュー) の [TCリンクモード] をタップする。
接続可能な対応機器が表示されます。
- 3 接続する機器をすべてタップする。

タイムコードの同期を行う

1 [TCリンク] をタップする。

接続しているカムコーダーのタイムコードが表示されます。

2 タイムコードを合わせる基準となるカムコーダーをタップする。

確認ダイアログが表示されます。

3 [OK] をタップする。

手順2で選択したカムコーダーのタイムコードで同期が開始します。

ご注意

- カムコーダーが録画中のときはタイムコードの同期はできません。
- Wi-Fiの電波状況が悪いときはタイムコードを同期できないことがあります。
- タイムコードの同期は数フレームの誤差が生じる場合があります。
- モバイル端末のタイムコードはモバイル端末の歩進精度で表示されます。カムコーダーの歩進精度とは異なりますので、カムコーダーからタイムコードが送られてくるまではタイムコードがずれことがあります。

タイムコードをマニュアルで合わせるには

TCリンク画面上部の【タイムコードを入力】をタップし、タイムコード設定画面で開始したいタイムコードを設定して [OK] をタップします。

設定したタイムコードで同期を開始します。

タイムコードを現在時刻に合わせるには

TCリンク画面上部の【タイムコードを入力】をタップし、タイムコード設定画面の【現在時刻を使用】にチェックを入れて [OK] をタップします。

モバイル端末の時刻でタイムコードの同期が開始します。

TCリンクモードをオフにするには

≡ (メニュー) – ☰ (コンテキストメニュー) – [TCリンクモード] のチェックを外します。

ご注意

- TCリンクモードをオフにすると、「ワイヤレスTC LINK」に設定しているカムコーダーは接続できません。

商標

- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- iOSは、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Androidは、Google Inc. の商標です。
- Final Cut Proは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- Adobe、Adobe PremiereはAdobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の商標です。
- Intelは、アメリカ合衆国および/またはその他の国におけるIntel Corporation の商標です。
- その他、本書に記載されている商品名、会社名等は、その会社の登録商標または商標です。

C-091-300-06(1) Copyright 2015 Sony Corporation